



上野創・山田泉講演会

「がんと向き合って」

再発・転移を生きる二人が語る“いのち”

「がんの治療は本当につらい」でも「むしろ全部引き受けて、自分の人生の一部にしていきたい」と語る上野創さん。子どもたちに「生きようよ」「助け合おうよ」と話しかける山ちゃん。がんの再発・転移を生きる二人の出会いが、私たちの心に大切なものを届けてくれます。



山田泉（やまだ・いずみ）

1959年豊後高田市生まれ。28年間、小・中学校で養護教諭。2000年、乳がんにかかり手術。復職後、自らの体験をもとに「いのちの授業」に取り組んだ。2年前、再発。手術を受け、再度復職したが、体力の限界を感じ今年3月退職。NHKテレビ「わくわく授業～私の教え方」、ETV特集などで紹介される。著書『「いのちの授業」をもう一度』（高文研）、『ひとりぼっちじゃないよ はじめての乳がんを生きるための知識とこころ』（木星舎 / 共著）。最近では体調を配慮しながら講演や子どもたちへの「いのちの授業」を行っている。オ・ドリーの会（おおいた乳がん患者の会）代表。愛称は“山ちゃん”。

12月24日（月・休日）10時～12時

別府市 コミュニティーセンター

別府市上野口町29番13号 0977-24-5320

Part 1 上野創さんの講演

再発・転移しながら働き続ける上野さんの生き方を聞く

Part 2 山ちゃんとトーク

がんと向き合って生きる二人が、あなたにメッセージ！

参加費 500円

参加ご希望の方は事前にお申し込み下さい。

電話の場合 0978-24-3239（金谷）

（15時～18時）

メールの場合 izumi1@smile.ocn.ne.jp

連絡先

上野創（うえの・はじめ）

1971年生まれ。東京都育ち。94年、早稲田大学政経学部政治学科卒業。朝日新聞社入社、2007年5月から東京本社・社会グループ員兼天声人語補佐。1997年に睾丸腫瘍・肺に転移、退院後も二度再発。2000年10月から約1年間、朝日新聞神奈川版で、闘病体験の手記「がんと向き合って 一記者の体験から」を連載。同じ題の本も出版(晶文社)し、第51回、日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。「がん」に自分の人生のすべてを取り込まれてしまうのは残念です。がんになった自分を卑下したり、まわりの目を気にしすぎたりする必要もまったくないはず。むしろ全部引き受けて、自分の人生の一部にしていければいいのではないですか」と語りかけます。

主催 オードリーの会（大分乳がん患者の会）